

小委員会における作業の状況

I 大学等による調査研究に関する情報の収集・整理

1. 残っている項目についての作業

昨年度は、次の項目について大学等による調査研究に関する情報を収集し、有明海・八代海の再生に係る評価を行ううえで有効なものを選定し整理した。

(第8回評価委員会で報告)

- ①干潟と海域の環境との関係
- ②潮流・潮汐等と海域の環境との関係
- ⑥赤潮・貧酸素水塊等の発生機構
- ⑦海域の環境と水産資源との関係

現在、残された次の項目について同様の作業を行っている。

- ③海域に流入する水の汚濁負荷量と海域の環境との関係 (16)
- ④海域に流入する河川の流況と海域の環境との関係 (6)
- ⑤土砂の採取と海域の環境との関係 (2)
- ⑧その他 (60)

(() 内の数字は文献数)

2. 新たな文献についての作業

昨年度の収集文献は平成15年3月までに発行されたものを対象としたため、平成15年4月～16年6月までに発行された文献を収集し、①～⑧すべての項目に関して昨年と同様の作業を行う予定(対象となる文献数は約140)。

II. 評価委員会資料2-1に対する情報の追加

上記Iの作業の成果を評価委員会の資料2-1に反映させる予定。